

## 北海道の活性化を目指す共創プロジェクト「DxD共創ラボ」始動

株式会社北海道新聞社（本社・札幌／宮口 宏夫・代表取締役社長）と、ダイヤモンドヘッド株式会社（本社・東京、札幌／柴田 幸一朗・代表取締役）は、北海道のさらなる魅力向上や地域活性化に向け、それぞれの得意領域を生かして新規事業を創出する共創プロジェクト「北海道新聞×ダイヤモンドヘッド ビジネス共創ラボ」（略称：DxD共創ラボ）を立ち上げ、その第1弾として以下の3プロジェクトのMVP開発（最小限での製品開発）を実施しました。



3つのプロジェクトは今後につながる研究開発としての位置付けを持ちつつ、その中でも、1つ目に紹介するウェブ広告用のバナーを自動で生成するアプリは、画像調整やタイトル挿入などの工程を大幅に短縮し、数分で効果的なバナーに仕上げることが可能です。交流サイト（SNS）などを通じて自社製品をPRしたい企業や、観光情報を発信したい自治体などにお使いいただくべく準備を進めています。

### 広告用バナー自動生成Webアプリ

#### ① 『Doshinデジタルテクノロジー研究開発プロジェクト』



加工前の元画像



写真から顔検出し画像を自動で切り抜き、会社ロゴと写真タイトルの位置と色を自動調整し半自動で生成されたバナー

ウェブ広告用バナーの自動生成アプリは、北海道新聞デジタルやTwitter・Facebookなどへの投稿で必要となる画像生成の効率化を目的に開発しました。

北海道新聞社ではPhotoshopやIllustratorを使ってバナーを作成していましたが、画像サイズの調整やトリミング、ロゴ・タイトルの挿入などに多くの時間を要していました。また、デジタルマーケティングの進展に伴い、ターゲットに対するクリエイティブなバナーの需要が高まる中、ABテストやセグメント別の広告内容・レイアウト変更などで迅速なバナー作成が求められるようになってきました。

開発したアプリは、これらのプロセスを大幅に短縮し、数分で効果的なバナーの生成が可能となります。既に北海道新聞社でテスト運用しており、デジタル広告の作成における効率とクリエイティビティの向上を目指しブラッシュアップを続けています。

<主要機能>

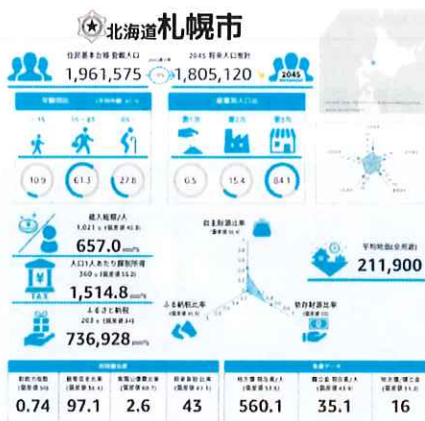
顔検出：face recognitionと呼ばれる顔認識技術を利用しアップロードされた画像から顔を検出、検出された顔を中心に画像をトリミングします。

色調整：OpenCVのk-meansを利用し、アップロードされた画像から代表色を複数抽出、文字の色を画像に載せて読める色に調整します。

要約機能：ChatGPTを利用し、記事文章をバナー用の短文に要約できるようプロンプトを最適化、バナーに載せる文章を自動生成します。

## あらゆる自治体行財政データをダッシュボードで見える化

### ② 『北海道179市町村見える化プロジェクト』



地方自治体の行財政数値をインフォグラフィックとして表示するダッシュボード。自治体を切り替えて表示可能です

道内自治体の実態を客観データで明らかにしながら、その地域の課題のみならず、ポテンシャルをも視覚化することを目的に、自治体行財政データダッシュボードの開発に取り組んでいます。

オープンデータをもとに各市町村のデータを「見える化」し、知られざる地域の可能性や価値の掘り起こしにつなげ、地方創生事業に資するツールとしての活用を視野に入れています。また、データベースの構築やダッシュボードの開発を通じてデータ管理と利用方法につ



いてのナレッジを蓄積しています。今後も地方自治体の「見える化」と魅力向上につながる取り組みを継続する考えです。

※BIツール：企業が持つさまざまなデータを分析・見える化して、経営や業務に役立てるソフトウェアのこと

▶BIツールで表示するにあたり、以下のデータ加工を行っています。

- ・共通フォーマットの作成：オープンデータのフォーマットに統一性がなく、市区町村ごとのデータが少ない等の複雑性に対応するために、総務省が公開している統計に用いる標準地域コードの全国版を加工し、市区町村を含む共通フォーマットを作成しました。
- ・データのクロールと結合：AWS GlueでAmazon S3に格納したマスターデータ（共通フォーマットのCSVファイル）をクロールしテーブルを作成、その後にAmazon AthenaでSQLを実行しAmazon QuickSightで利用するビューを作成しています。

## 北海道新聞社の新聞紙面をIP化する取り組み

### ③ 『新聞IP化プロジェクト』



新聞や紙面レイアウトを「デザイン・意匠」と捉え、IP（知的財産）ビジネスとして展開することも検討しています。北海道新聞の過去の紙面レイアウトやフォントを令和の表現として捉え直し、新たな価値を見出そうという試みです。誕生日にその日付の新聞をワインと一緒にプレゼントする提案や、新聞記事を活用した複製不能なデジタル資産「NFTアート」などを模索する中、「カラー」「文字」「コラージュ」「AIアート」4カテゴリーのラッピングデザインを作成。実際にメーカー企業への働きかけも行っています。

## プロジェクトでの開発手法

各プロジェクトの進行では、チャット、タスク、ドキュメントなどを一元的に管理できるオールインワン型のコラボレーションツールを導入し、短期間でのMVP開発をダイヤモンドヘッドと北海道新聞社の両拠点間で実現しました。

ダイヤモンドヘッドからは若手のITエンジニアが参加。普段扱っているファッション・アパレルとは異なる業種・業界との協業を通じ、北海道を意識し、視野を広げる研修の一環として取り組んでいます。

北海道新聞社は新規事業開発を担当するビジネス開発本部と営業局メンバーが中心となり、もっと面白く、カジュアルに新規事業が生まれる環境を北海道につくっていききたいとの思いから参加しています。

#### ▶ 株式会社北海道新聞社

ダイヤモンドヘッドとの共創的なラボ活動を通じて、新聞メディアの枠を超え、デジタル化や新技術の活用を積極的に進めています。全道に張り巡らせた取材網を生かし、北海道にこだわった情報を発信しながら、紙とデジタルとリアルで新たな価値を提供していきます。

HP：<https://www.hokkaido-np.co.jp>

#### ▶ ダイヤモンドヘッド株式会社

私たちダイヤモンドヘッドは、ファッション・アパレル業界に特化した「スタジオでの写真撮影」「システム開発」「倉庫運営」「ウェブマーケティング」「サイト運営」「カスタマーサポート」などのEC運営に必要なサービスを一貫して提供できる体制を強みとしたEC支援事業を行っています。首都圏に11拠点ある撮影スタジオと札幌・東京の両拠点の体制によりファッション・アパレルを「ECとTechnology」の力で支えています。

北海道新聞社とのプロジェクトを通じて北海道との関わりを深め、地域の魅力化や価値創造をデジタルの技術・知見で支援し、新たなビジネスの創出に向けた取り組みを行って参ります。

HP：<https://diamondhead.jp/>

本リリースに関する問合せ先

株式会社北海道新聞社 ビジネス開発本部

電話番号：011-210-6020

メールアドレス：newbiz@hokkaido-np.co.jp

ダイヤモンドヘッド株式会社 札幌本社 採用広報担当

電話番号：050-3146-9986

メールアドレス：contact-hr@diamondhead.tech